

AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2023年第4四半期）

グラフの読み方

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質 GDPの伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDP を実質 GDP で除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDP の価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の間を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したものの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル/本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人

アジア成長研究所

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL：093-583-6202 / URL：<https://www.agi.or.jp>

日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

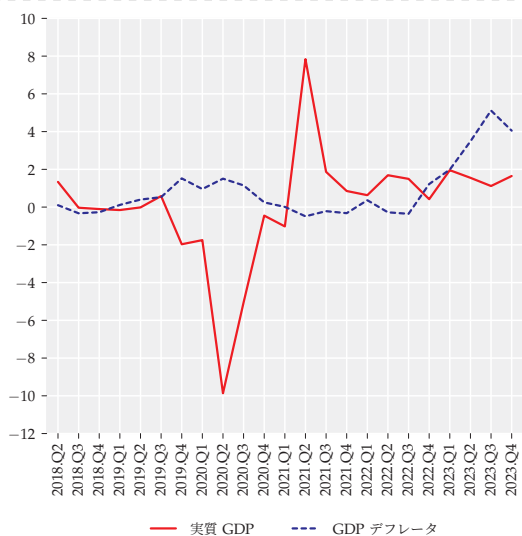


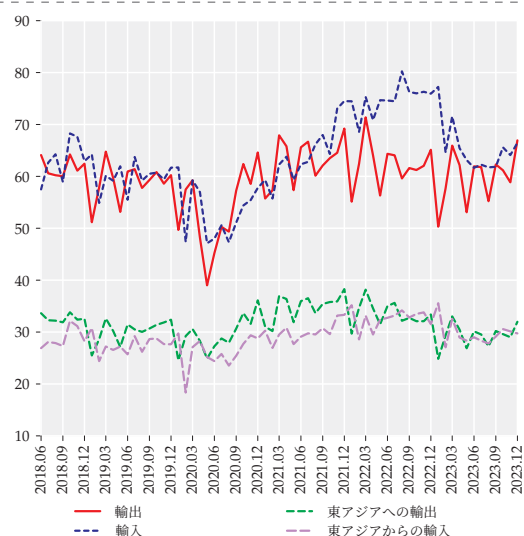
図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



日本経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期の実質 GDP の伸び率は前期 (1.7%) から減速し、1.0%となった (前年同期比, 速報値)。第4四半期の成長率としては、前年を上回った。民間最終消費支出が前年同期比で -0.5%と前期 (-0.2%) よりも減速したほか、民間企業設備投資も -0.7%となり、内需が低迷している。民間最終消費は、新型コロナ5類移行を受けてサービス消費の回復が続いてきたものの、長引く食料品などの物価高が財消費の重しとなり、2四半期連続のマイナスとなった。また、年明けから円安・株高の連動が鮮明になっている。円相場は2024年2月末時点では150円台となっており、日経平均株価は2024年3月4日に40,000円を突破し、最高値を更新した。貿易は好調であり、第4四半期の輸出額および輸入額はそれぞれ前年同期比で3.6%と-2.3%となった。堅調な輸出、物価上昇の落ち着いた動き、国内需要も底堅さを取り戻すことが期待されるため、今後も景気は緩やかな回復基調で推移するとみられる。(小松 翔)

中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

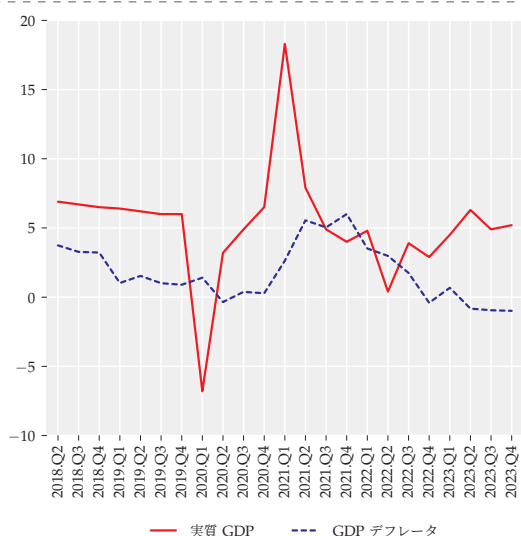


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

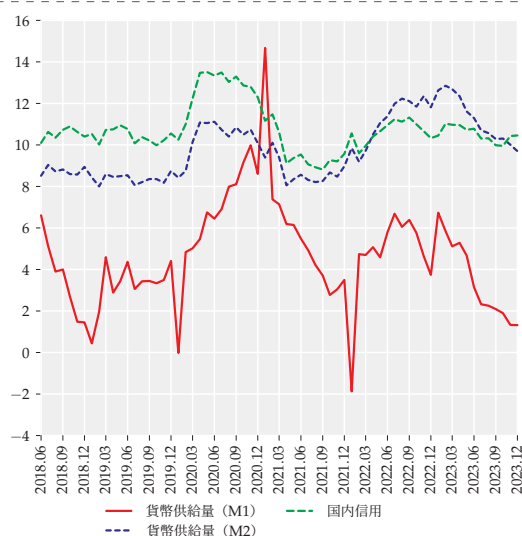


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

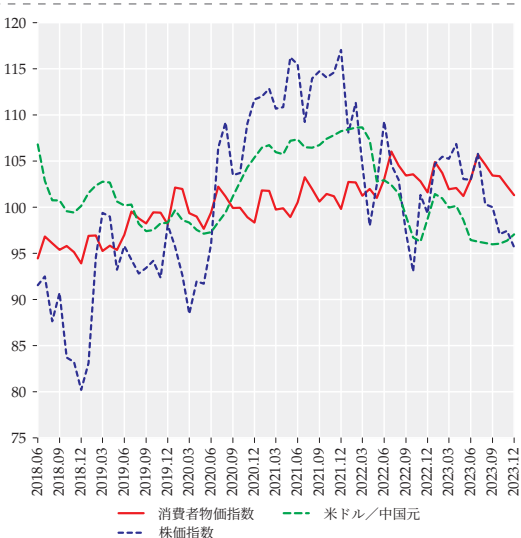


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



中国経済の動向 (2023年第4四半期)

第4四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比）は5.2%となり、第3四半期の4.9%から上昇した。産業別の成長率をみると、第一次・第二次・第三次産業はそれぞれ4.2%、5.5%、5.3%であった。支出側の成長率への貢献度をみると、国内最終消費は82.5%、固定資本形成は28.9%、純輸出は-11.4%を寄与している。消費とサービス業は安定しているが、不動産市場の不況と輸出の伸び悩みの長期化が懸念されている。一方、10月24日の全人代常務委員会第6回会議で、第4四半期に1兆元（約20兆5千億円）の国債増発が承認された。従来の金融緩和が中心であった刺激策に加えて、財政面でも景気下支えを強化する動きがでてきた。しかし、2023年通年の成長率は5.2%となり、市場予想の5.3%には届かなかった。経済の先行きに不安があるなか、上海総合株価指数の12月の終値は2,954.70ポイントとなり、年初来の騰落率は3.7%安だった。IMFの予測によれば、2024年の中国の経済成長率は4.6%に減速する見込みである。（彭 雪）

香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

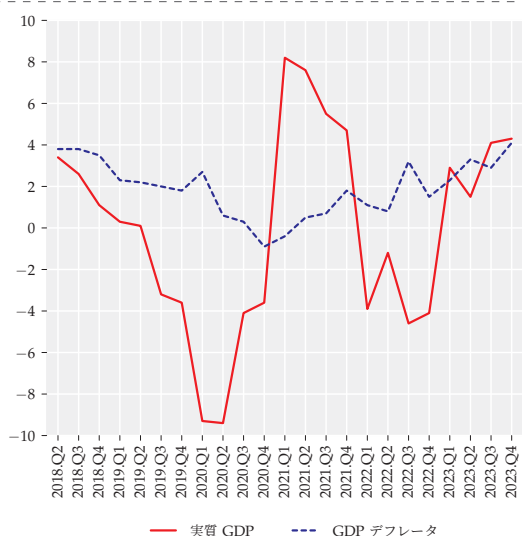


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

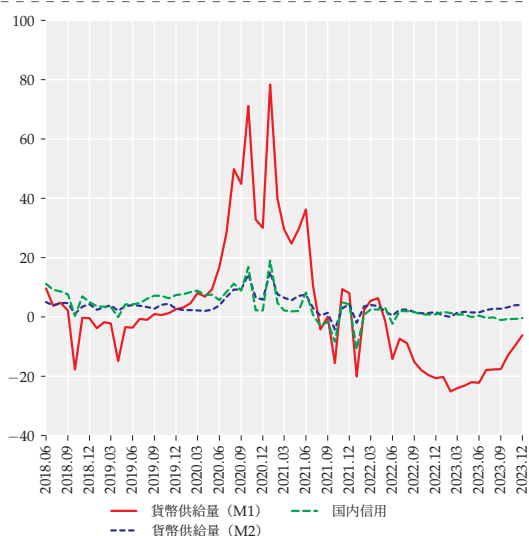
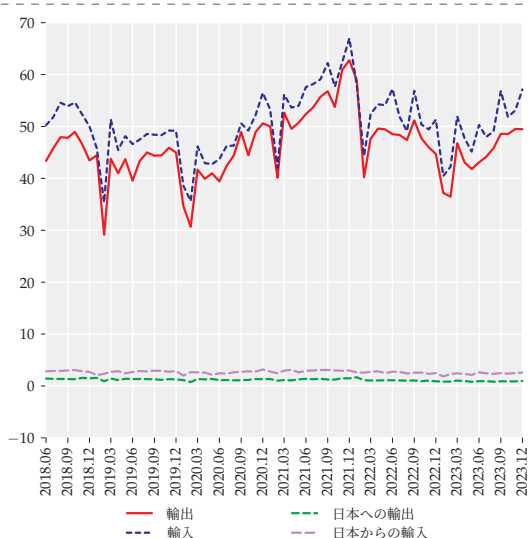


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



香港経済の動向 (2023年第4四半期)

香港の第4四半期の対前年同期比実質 GDP 伸び率は4.3%と公表された。第1四半期の2.9%, 第2四半期の1.5%, 第3四半期の4.1%からさらに上昇した。2023年通年の実質 GDP 伸び率は3.2%となり, 年初の予測値を下回ったものの, 2022年の-3.7%から大きく回復した。2023年を振り返ってみると, 香港の貨物輸出は10.3%下落したものの, サービス輸出は, インバウンド観光の復活に牽引され, 21.2%上昇した。また, 感染防止措置の撤廃後, 民間消費は, 収入の増加と政府の様々な消費促進策に支えられ7.3%伸びた。さらに, 景気好転に伴い, 投資支出は10.8%拡大し, 労働市場も改善した。一方, 消費者物価は若干上昇したが, 全体的に穏やかな状態を維持した。2024年における欧米先進国の利下げトレンド及び中国経済の動向などを考慮し, 香港政府は2月28日に, 2024年通年の香港実質 GDP 成長率予測値は2.5~3.5%になる, と公表した。

(戴 二彪)

韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

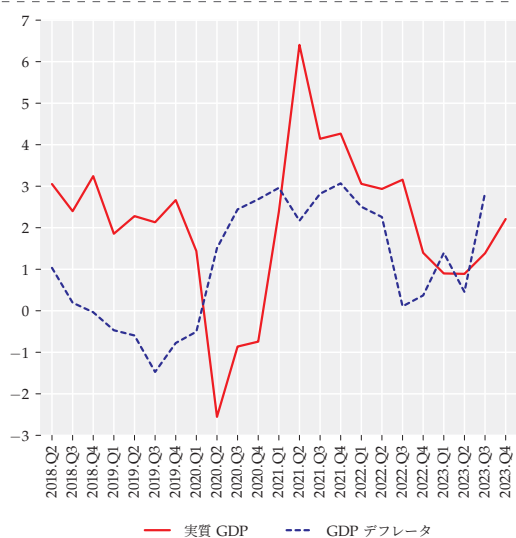


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

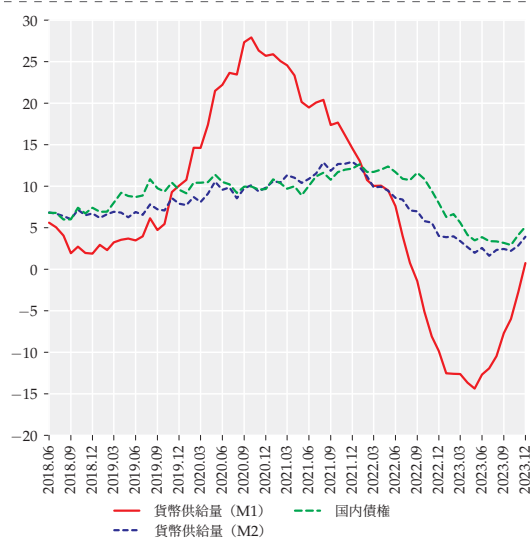


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

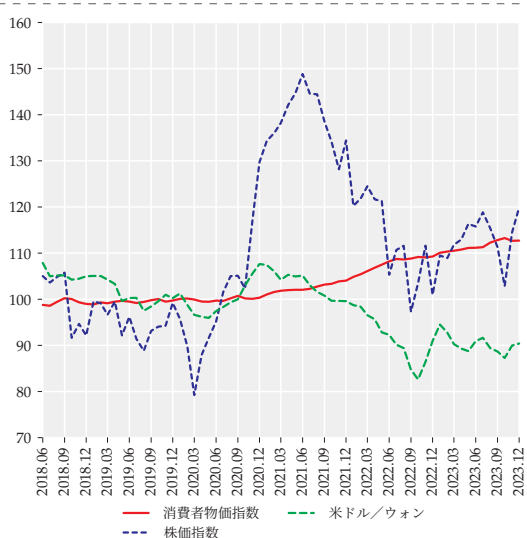
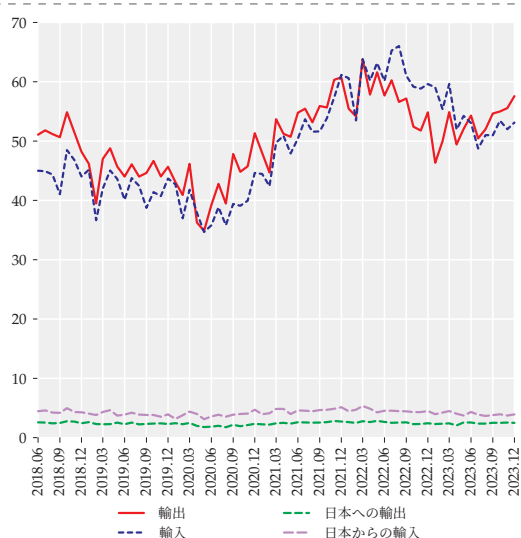


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



韓国経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比，以下同じ）は 2.21 %で、前期から約 0.8 パーセントポイント上昇した。12 月末の株価指数は 2,655.28、1 米ドル = 1303.98 ウォンであった。株価もウォン相場も上昇した（9 月末の同指標は 2,465.07、1329.47 ウォン）。また、12 月末消費者物価指数（CPI）は 112.71 で、伸び率は 3.16 %であった。CPI の伸び率は 2023 年後半から低下傾向にある。外需は、輸出の伸び率が前四半期の -9.72 %から 5.71 %へと 15 パーセントポイントの大幅な増加となった。輸出の伸び率は第 2 四半期から回復を続けている。さらに M1 の伸び率は 0.74 %で、第 4 四半期にマイナスからプラスに転じた。韓国経済は輸出の改善につながる IT セクターの回復に支えられ、緩やかに改善すると予想される。しかしながら、原油価格の先行き不透明感や、地政学的リスクなどによる今後のインフレ動向の不透明感が高まっているため、インフレリスクには引き続き注意を払う必要がある。（柯 宜均）

台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

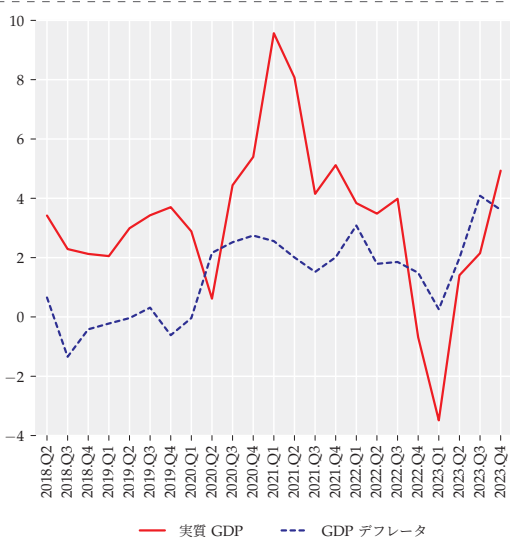


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

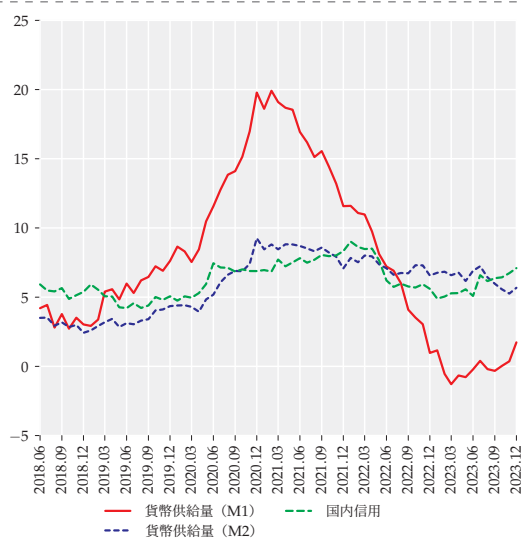


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

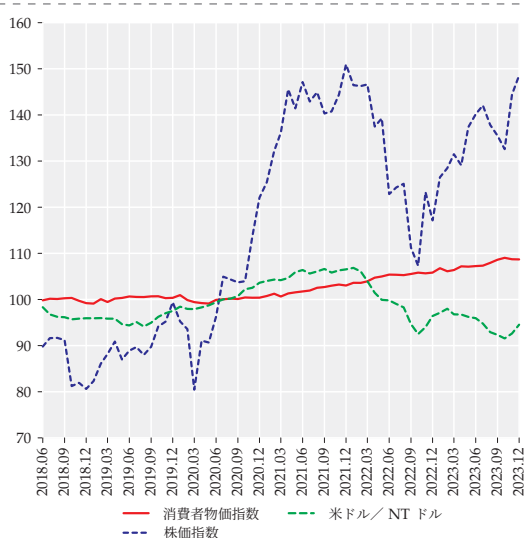
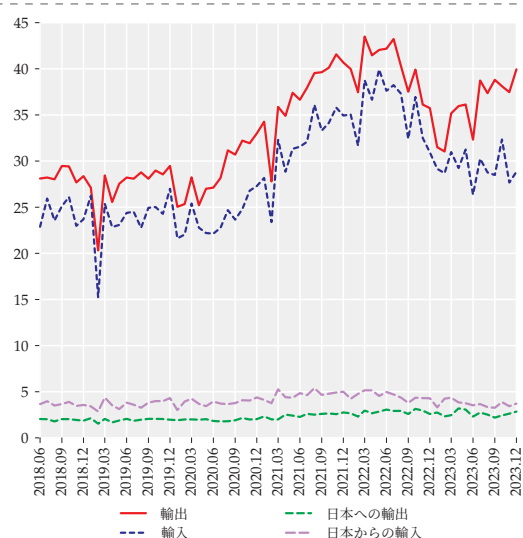


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



台湾経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比，以下同じ）は 4.93 %で，前期の 2.15 %から大きく上昇した。傾向から判断すると、2023年第2四半期以降、台湾経済は改善が続いている。12月末の株価指数は 17,930.81，1米ドル＝31.28台湾ドルであった。株価も台湾ドル相場も上昇した（今年9月末の同指標は 16,353.74，32.03台湾ドル）。国際貿易では，輸出の伸び率が前四半期の -5.08 %から 3.34 %へと約 8パーセントポイント改善した。傾向から見ると，輸出は7月以降大きな変動は見られない。同様の傾向は消費者物価指数にも見られる、12月末の消費者物価指数は 106.58 であった。今後、AI アプリケーション、高性能計算機（HPC）、自動車用電子機器など、新しい技術アプリケーションに対する需要の増加が、台湾の輸出を支えることになるだろう。また、消費者物価指数も、家庭外食品と住宅家賃の持続的な値上がりにより、上昇すると予想される。

(柯 宜均)

インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

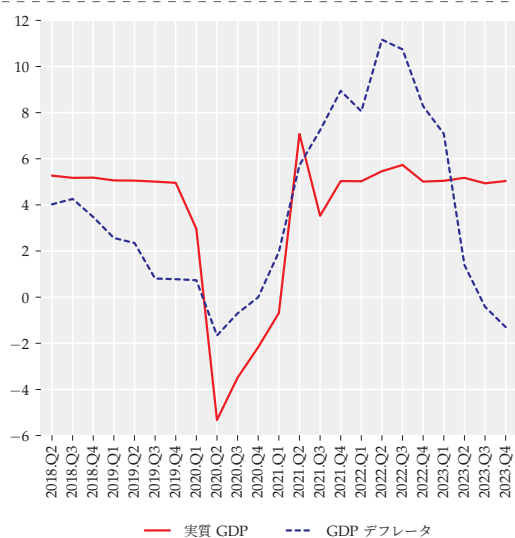


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

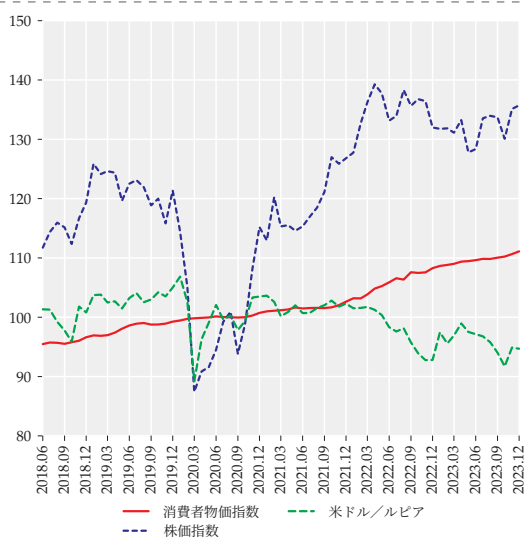
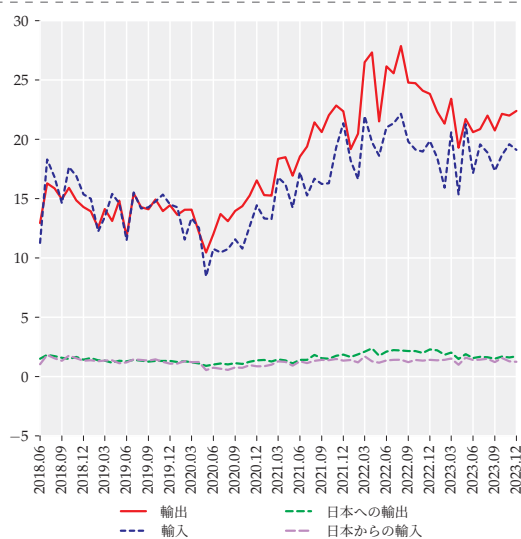


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インドネシア経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比で 5.03 %となり、再び 5 %台の成長を記録した。2023年の実質 GDP 成長率も 5.05 %となった。GDP の 2 分の 1 を占める家計最終消費支出は 4.47 %となり、前期 (5.05 %) からは減速したものの、堅調を維持した。特に運輸・通信部門および飲食・宿泊部門がそれぞれ 7.59 %と 6.38 %と高い伸びを示した。GDP の 5 分の 1 を占める財輸出は 0.40 %となり、前期 (-6.68 %) から大きく改善した。生産側から見ると、GDP の 5 分の 1 を占める製造業は 4.07 %と前期 (5.19 %) から減速したものの、建設業が 7.68 %、運輸・倉庫業が 10.33 %と高い伸びを示した。2月に行われた大統領選挙では、ジョコ大統領の路線継承を掲げるプラボウォ国防相の当選が確実視されており、経済成長を重視したこれまでの政策が国民に評価された格好だ。中央銀行は 2024 年の経済成長率について、世界経済の減速によって外需が低迷するものの、堅調な内需が成長を支えるとして、その予測値を 4.7~5.5 %としている。(田村一軌)

マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

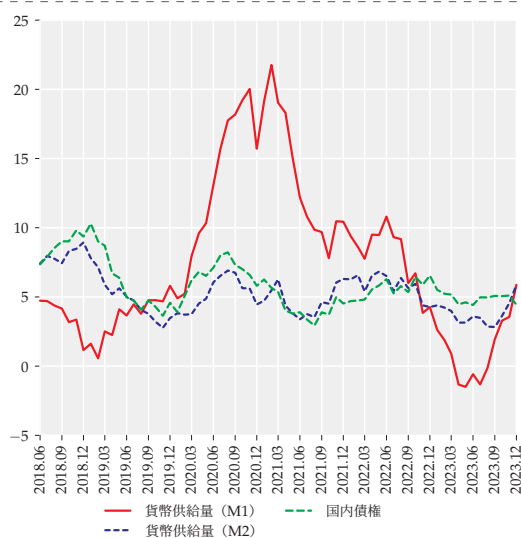


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

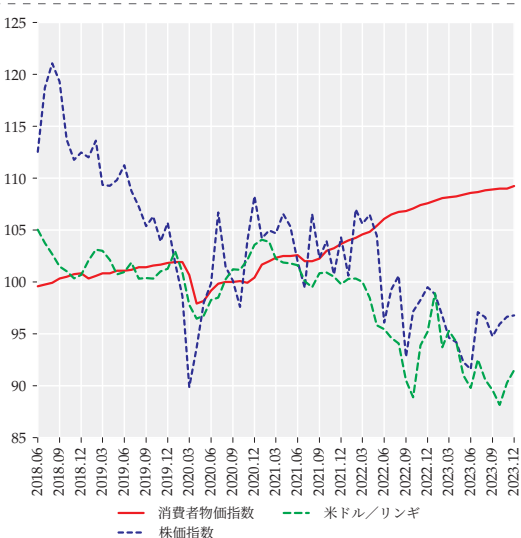
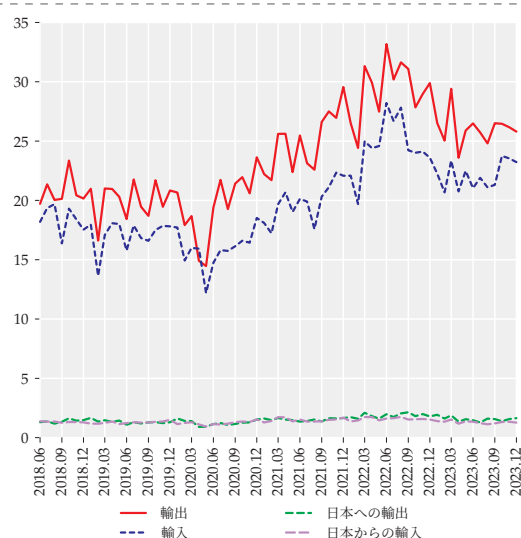


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



マレーシア経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期のGDP成長率は前年同期比で3%となり、年間成長率は3.7%であった。外部環境が厳しい中、成長は減速した。これは主に、世界貿易の鈍化、世界的なハイテク不況、地政学的緊張、金融引き締め政策によるものであった。当四半期の総合インフレ率は1.6%まで低下した。この下降傾向は、生鮮食品のインフレ(2023年第4四半期:0.5%)とコアインフレ(2%)の緩やかな上昇が寄与した。国内金融市場は引き続き、世界の金融政策の行方をめぐる金融市場の期待の高まりに牽引された。こうした中、米ドル安を受け、他の多くの通貨と同様に、2023年第4四半期のリンギットの対米ドル相場は2.1%上昇した。2024年の成長は、底堅い国内支出と外需の改善によって牽引されるだろう。ハイテク産業の回復とともに、より強い外需と観光セクターの継続的な改善がマレーシアの輸出を支えるだろう。国内面では、雇用と賃金の継続的な伸びによって家計消費が支えられるだろう。

(アルバロ・ドミンゲス)

フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

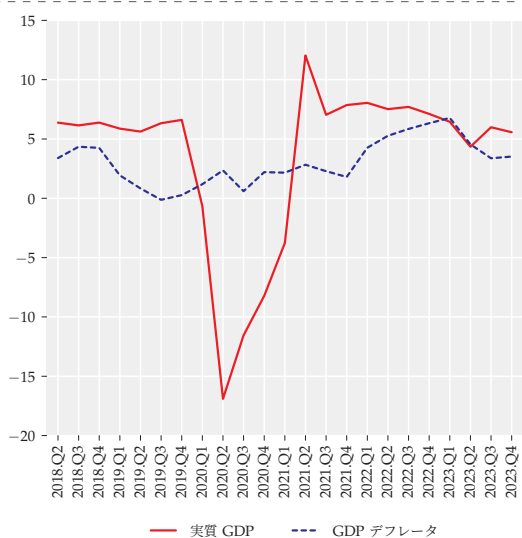


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

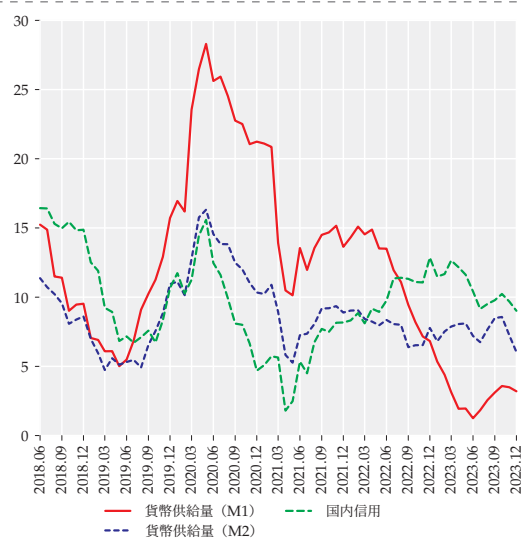


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

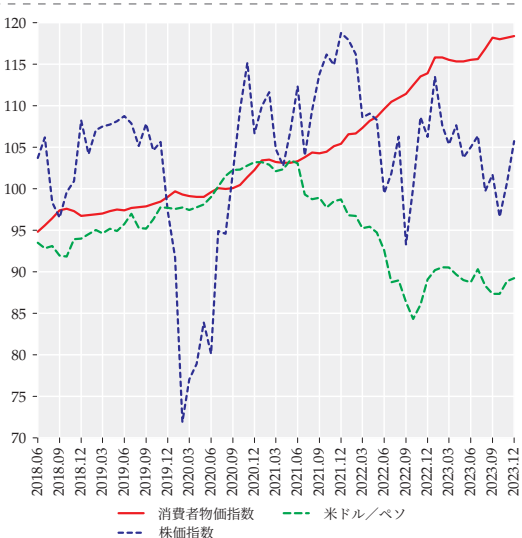
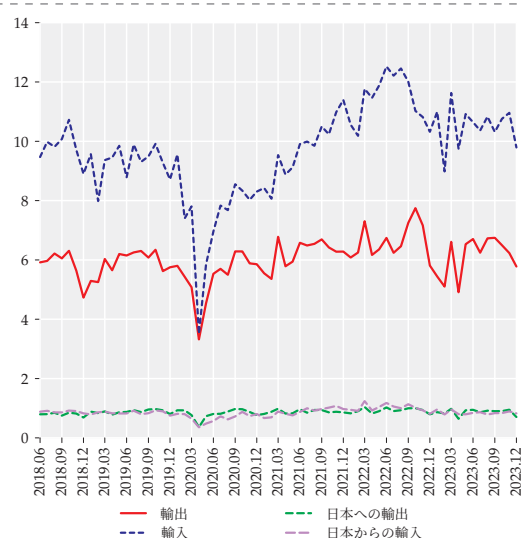


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



フィリピン経済の動向 (2023年第4四半期)

フィリピン経済の2023年の実質 GDP 伸び率は、第1四半期 6.4%、第2四半期 4.3%、第3四半期 6.0%、第4四半期 5.6%で、通年では 5.6%であった。2023年第4四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、GDP の 75% を占める民間最終消費支出は 5.3% (前期は 5.1%) で微増、政府最終消費支出は -1.8% (前期は 6.7%) と大幅に減少した。総固定資本形成は 10.2% (前期は 8.1%) と増加した。財・サービスの輸出は -2.6% (前期は 2.6%) と落ち込み、他方で、財・サービスの輸入は 2.9% (前期は -1.1%) と増加している。第4四半期の伸び率を産業別にみれば、第一次産業は 1.4% (前期は 0.9%) と小幅な増加を示し、第二次産業は 3.2% (前期は 5.6%) と減少した。GDP の 61% を占める第三次産業は 7.4% (前期 6.8%) と堅調であった。中でも、宿泊・飲食業 19.2%、運輸・倉庫業 9.7%、金融・保険業 11.8% が第4四半期の成長に貢献した。

(岸本千佳司)

シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

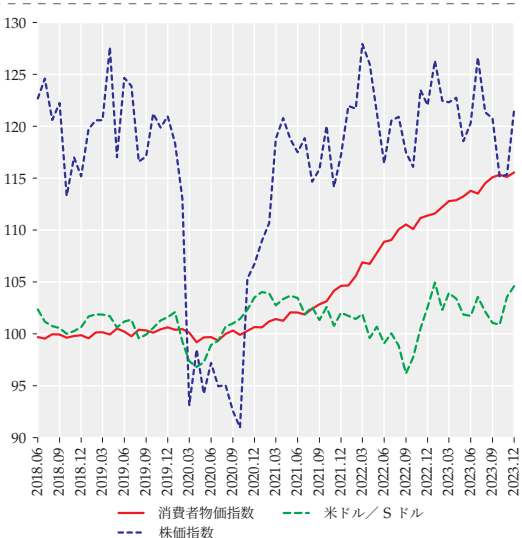
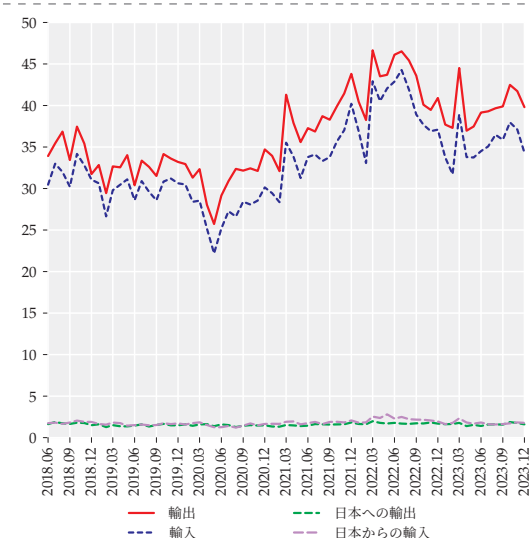


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



シンガポール経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期のGDPは前年同期比2.2%増加し、2023年には1.1%拡大した。製造業の成長率は1.4%で、前期の4.9%減から回復した。成長を牽引したのは、電子機器、輸送機械、化学部門の生産拡大であった。宿泊業は外国人観光客の好調な回復により引き続き成長したが、前年同期比1.5%増と、前期の12.6%増から大きく減速した。世界経済のリスクは依然として大きい。イスラエル・ハマス紛争やウクライナ戦争が激化・拡大すれば、世界のサプライ・チェーンや商品市場が混乱する可能性がある。また、金融引き締めは遅効性が銀行・金融システムの潜在的脆弱性を誘発する可能性もある。こうしたことを考慮すると、2024年にシンガポールの製造業と貿易関連セクターの成長は緩やかに回復すると予想される。特に、半導体の販売が世界的にも国内的にも予想以上に回復していることから、製造業の中でも電子機器・精密機器部門は早く回復すると予想される。MTIは、2024年のGDP成長率を1~3%と予測している。(アルバロ・ドミンゲス)

タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

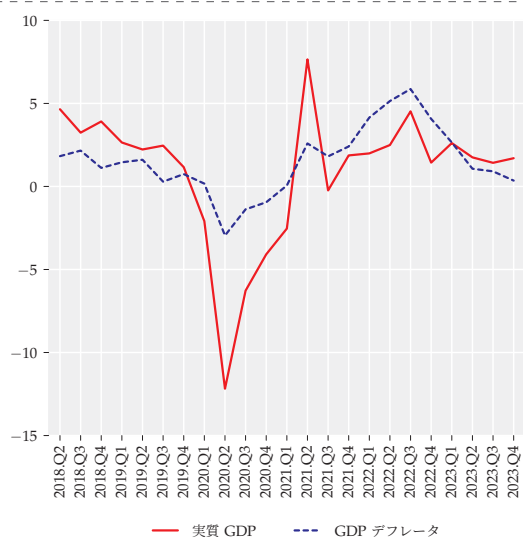


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

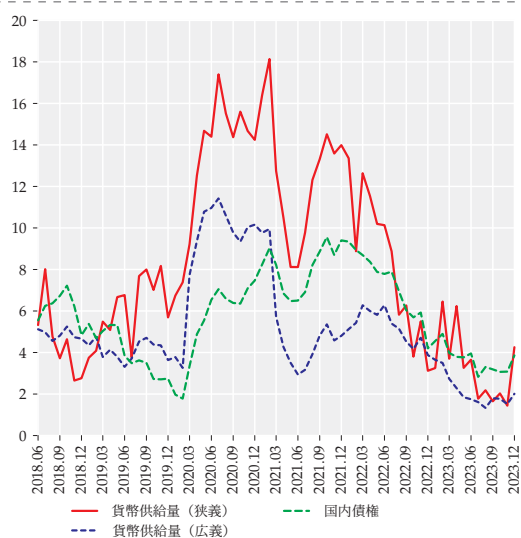
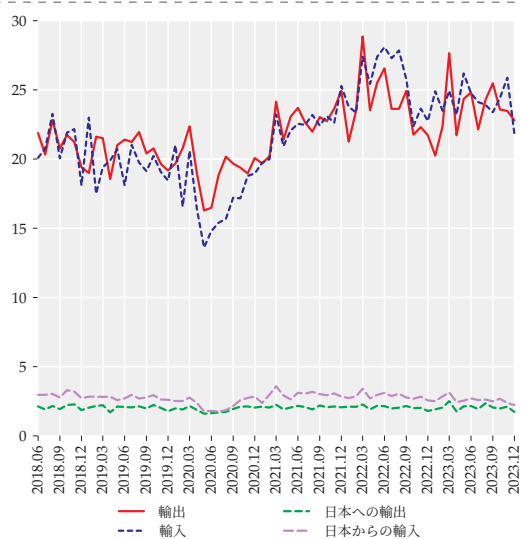


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



タイ経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期の成長率は、前年同期比で1.7%の拡大を記録した。2023年は1.9%の成長を達成したが、2022年の2.5%の成長率からは減速した。支出面では、民間消費は7.1%増加し、2022年の6.2%から加速した。民間投資とサービス輸出はそれぞれ3.2%、38.3%の増加を示したが、財の輸出は2022年の5.4%増から1.7%減に転じた。公共投資も4.6%減少し、2022年の3.9%減少からさらに下降した。生産面では、宿泊及び飲食サービス業が18.0%増、運輸及び倉庫業が8.4%増、卸売及び小売業が3.8%増、農林水産業が1.9%増と、前年比で拡大を見せた。経済の安定性において、失業率は0.98%、ヘッドラインインフレ率は1.2%であり、経常収支はGDPの1.3%の黒字を記録した。2024年のタイ経済の成長率は2.2~3.2%の範囲(中央値2.7%)と予測されており、成長を支える主要因としては、世界経済の回復に伴う財輸出の増加、民間消費と民間投資の成長、観光部門の持続的な回復が挙げられる。(姚 瑩)

ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

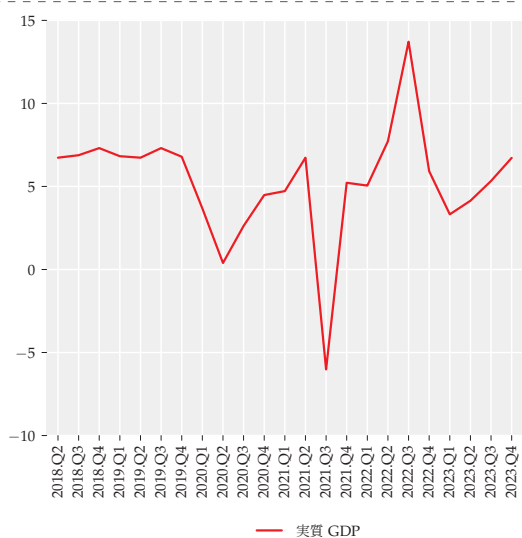


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

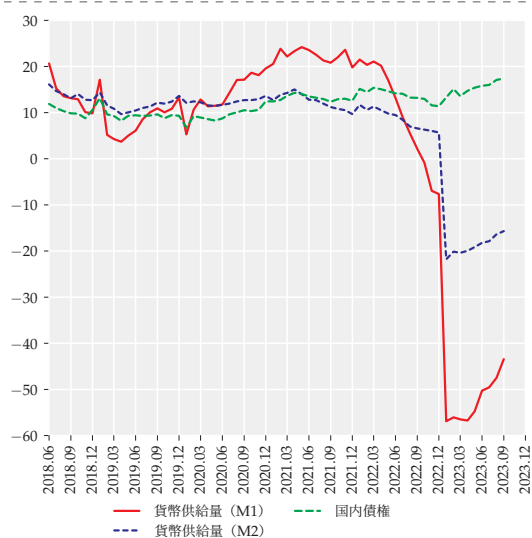


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

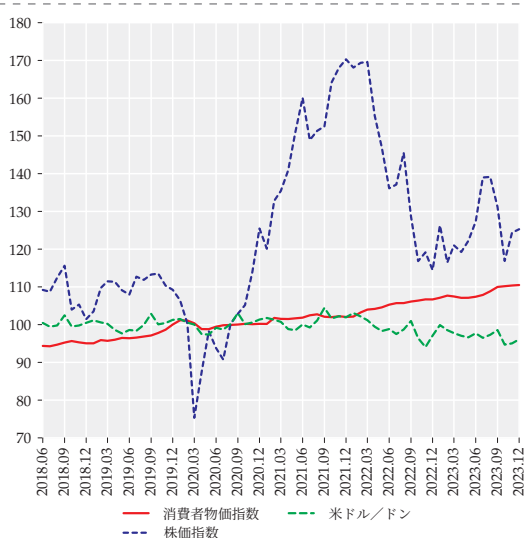
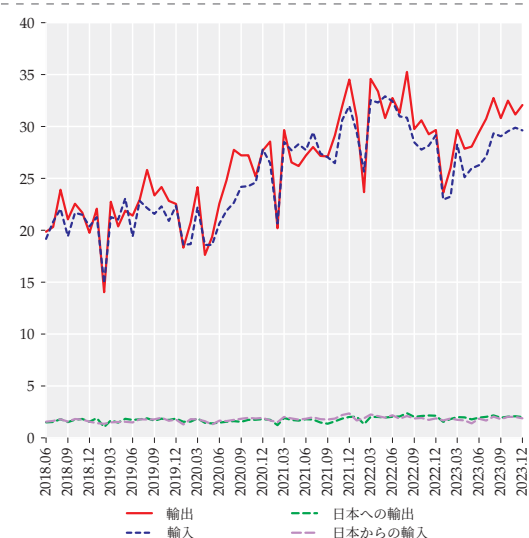


図4：輸出額と輸入額

(10 億米ドル)



ベトナム経済の動向 (2023 年第 4 四半期)

2023 年第 4 四半期のベトナム経済は、各セクターでのポジティブなトレンドに支えられ、GDP 成長率が 6.72 % と前四半期よりも加速し、堅調な成長を記録した。農林水産業は 4.13 %、工業・建設業は 7.35 %、サービス業は 7.29 % それぞれ増加した。最終消費は 4.86 % 増加し、財貨およびサービス輸出は 8.68 % 増加した。製造業が世界的な需要の減少という課題に直面するなかで、成長を安定化させるための努力がなされた。農業部門は積極的な進展を見せ、米の生産が著しく増加し、畜産業の成長が安定した。工業部門は課題に直面しつつも、特に建設業において増加が見られた。貿易と観光は成長の勢いを維持し、サービス業の成長にプラスの貢献をした。全体として、ベトナム経済は世界的な不確実性の中でも強靱性を示し、2023 年の成長率は 5.05 % に達した。持続的な発展のために、イノベーション、デジタル変革、投資の向上に向けた取り組みが続けられている。

(グエン・フン・トウ・ハン)

インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

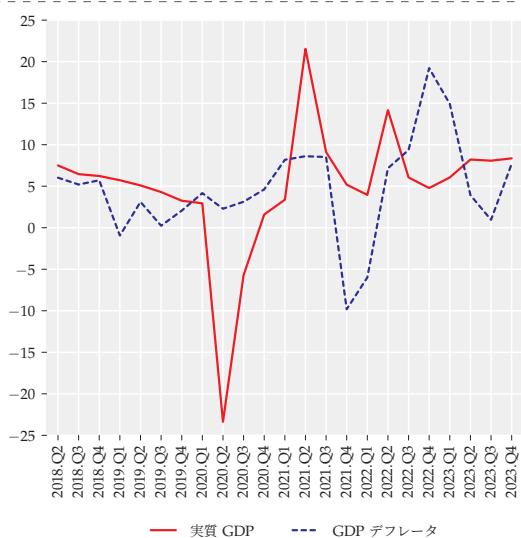


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

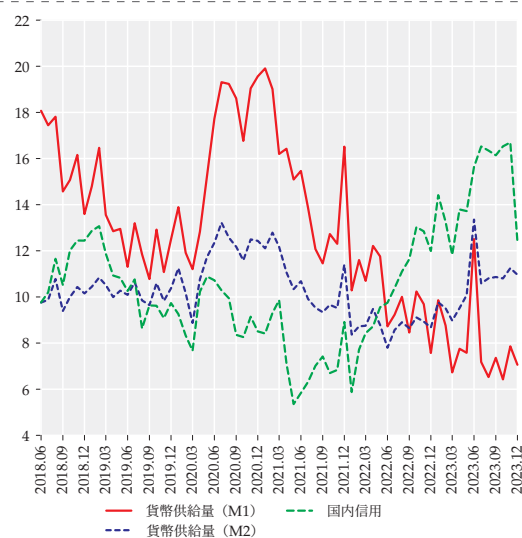


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

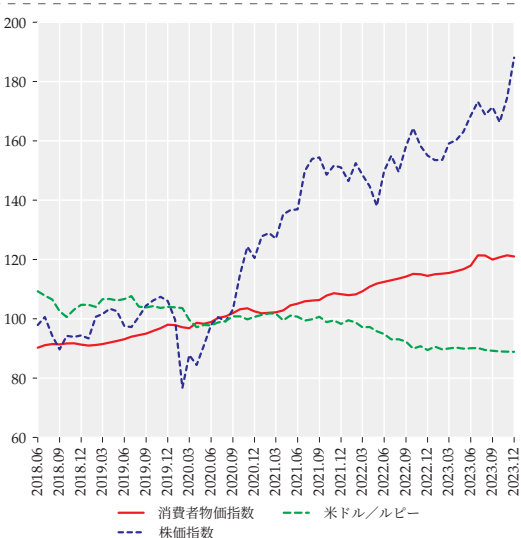
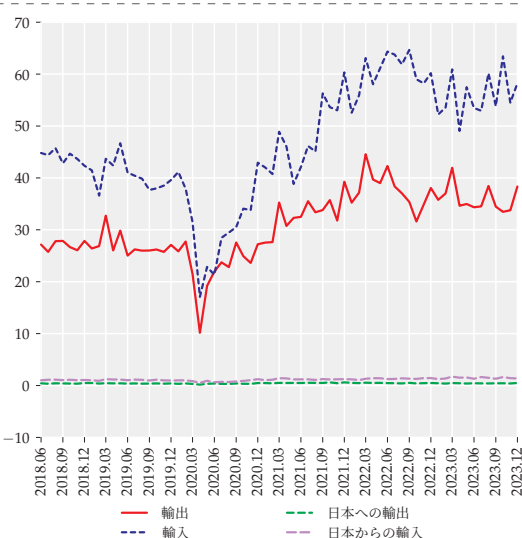


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インド経済の動向 (2023年第4四半期)

2023年第4四半期のGDP成長率は前年同期比で8.4%であった。これは前期の7.6%増を上回り、経済学者の予想をも大きく上回った。製造業の11.6%増と建設業の9.5%増を背景に、今期のGDP成長率は過去6四半期での最高値を更新した。サービス部門の成長は4.5%から6.7%に加速した。個人消費は前年比3.5%増、投資は前年同期比で10.6%と大幅に増加した。これらの成長を背景に、SENSEX指数は9月末から10%上昇した。一方で、輸出額の対GDP比は22.2%で、前年同期の23.3%から下落した。輸入額の対GDP比も減少し、前期の27.5%から24%に落ち込んだ。農業は、モンスーンの不調とエルニーニョの影響で0.8%縮小した。インドでは過去5年間で最も少ないモンスーンの降水量を記録し、政府は砂糖、米、小麦などの農産物の輸出制限を延長した。これらのデータを踏まえ、IMFは2023年度の成長率を6.5%と予測している。一方で、モディ政権は2023年度の成長率予測値を7.6%とし、さらに高い成長を見込んでいる。(姚 瑩)

図に関するデータの出所および注

日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *List of All Statistical Products* (https://www.censtatd.gov.hk/en/page_1273.html)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cl.aspx?n=2332>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cp.aspx?n=2327>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

インドネシア：

- 図 1, 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id/subject/3/inflasi.html>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)

マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/publications/mhs>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/statistics/national-accounts>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；シンガポール金融管理局が2021年7月から統計の集計方法を変更したため、それ以降2022年6月までの前年同月比を計算していない。
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council, *National Account* (https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national_account)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/monetary-statistic.html>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (http://www.price.moc.go.th/en/home_en)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/statistics/market-statistics/main>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)

ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

インド：

- 図1, 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2023年第3四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<https://data.imf.org/dot>)